※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）健康科

教科	（学）健康	科目	（学）生命倫理	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・医療看護系に進学を希望する者を対象にしています。
・医療技術の進歩に伴って生じる臓器移植、尊厳死、生殖医療など、生命倫理上の様々な問題を学習し、現代社会における医療の在り方について考えます。
・毎回の授業内での発表および、中間レポート作成と準考査にて成績評価を行います。

２　学習の到達目標

医療技術の進歩に伴って生じる臓器移植、尊厳死、生殖医療など、生命倫理上の様々な問題を学習し、現代社会における医療の在り方について考えさせる。
（１）生命倫理の基本概念、人権、共同体、個人主義について明確に理解する。
（２）脳死・臓器移植・安楽死・尊厳死などについて考える。
（３）生命操作技術の高度化に伴って起きる新たなタイプの倫理的問題に対する医療や福祉のあり方について考察する。
（４）医療技術の進歩とともに生じる様々な問題に目を向け、現代における医療や福祉の在り方について考える態度を育み、社会の発展とともに学び続ける資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生命倫理の基本概念、人権、共同体、個人主義についての知識・技能を身に付け、理解している。	脳死・臓器移植・安楽死・尊厳死などについて考え、それぞれに関する問題事象の解決に向けて創意工夫のある考えを表現している。	生命操作技術の高度化に伴って起きる新たなタイプの倫理的問題に対する医療や福祉のあり方について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組むとともに、他者とも協働できる実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～2月	生命倫理と倫理学	・対話と探求の作法 ・倫理学の基本	a：倫理学の基本について理解を深めている。 b:身近だが意見の分かれる問題を題材に、探求的な対話を行い、能動的に議論している。 c：他者と対話を進める中で、自らの考えをもち、議論の場に積極的に取り組もうとしている。	授業内発表	授業内発表	授業内発表
		・探求の作法(共同研究) ・生命倫理のケース探求	a: 生命倫理の基本的な概念を理解し、共同研究に必要な基本的な技能を身に付けている。 b：広く生命に関する話題について各種のテクスト（専門的なもの・読み物・ガイドライン等）の抜粋の輪読と、探求的な対話を行っている。 c：他者と協同して探求作業を進める中で、自分の考えをもち、議論の場に積極的に取り組もうとしている。	授業内発表	授業内発表 レポート	授業内発表 レポート
		・議論(argument)を書く作法 ・生命倫理問題の探求学習	a：議論（argument）の基本について講義を受け、理解を深めている。 b：生命倫理や倫理一般に関する問いを自ら立てて、それにこたえる議論を実際に作成する。 c：生命倫理問題に関する課題について、倫理学の学習を踏まえた上で自ら課題を設定し、主体的・協働的に身に付けようとしている。	授業内発表	授業内発表	授業内発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度